

- 問1 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた | 2. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた | 3. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた | 4. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた |
|-------------------------------------|--|----------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 佐賀県の東名遺跡（ひがしきょういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 | 2. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。 | 3. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。 | 4. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。 |
|--|---|--|--|
- 問3 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 土偶 | 2. 埴輪 | 3. 銅鐸 | 4. 石包丁 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問4 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. 吉野ヶ里遺跡 | 2. 岩宿遺跡 | 3. 三内丸山遺跡 | 4. 登呂遺跡 |
|-----------|---------|-----------|---------|
- 問5 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。 | 2. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。 | 3. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。 | 4. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。 |
|---|---|---|---|
- 問6 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。 | 2. 堅穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。 | 3. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。 | 4. 本格的な水稲耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問7 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた | 2. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた | 3. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた | 4. 自然の恵みに感謝し、食べ物豊かなことや安産などを祈るために作られた |
|------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問8 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。 | 2. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。 | 3. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。 | 4. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。 |
|--|---|--|---|
- 問9 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 1. 中央集権社会 | 2. 持続可能な社会 | 3. 多文化共生社会 | 4. 高度情報化社会 |
|-----------|------------|------------|------------|
- 問10 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 古墳時代 | 2. 縄文時代 | 3. 旧石器時代 | 4. 弥生時代 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問11 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|----------------|------------------|------------------|
| 1. 三内丸山遺跡 — 弥生時代 | 2. 登呂遺跡 — 弥生時代 | 3. 三内丸山遺跡 — 縄文時代 | 4. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代 |
|------------------|----------------|------------------|------------------|
- 問12 縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいますか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 土偶 | 2. 青銅器 | 3. 石包丁 | 4. 埴輪 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問13 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 銅鐸 | 2. 土偶 | 3. 埴輪 | 4. 石包丁 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問14 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| 1. 青銅器 | 2. 打製石器 | 3. 鉄器 | 4. 磨製石器 |
|--------|---------|-------|---------|